

佐藤慶太郎と別府市美術館

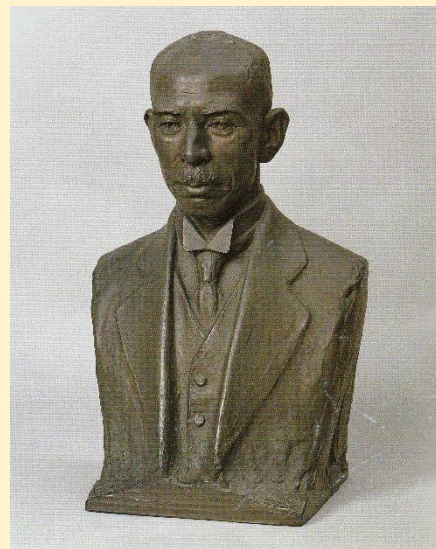
佐藤慶太郎は、1868年（明治元年）、現在の北九州市八幡区に生まれ、後に石炭業界に入り、「石炭の神様」と呼ばれた人物です。

「富んだまま死ぬのは、人間の恥である」というアメリカの実業家アンドリュー・カーネギーの言葉を信条としていた佐藤は、公共施設の設立・寄贈をはじめ、有能な人材への育英事業へ資金提供など、篤志家として多くの逸話が残されています。

晩年は、静養のため訪れた別府に安住し、「温泉で体を癒し、芸術文化で心を癒して欲しい」と別府市美術館設立基金の寄付を遺言し、1940年（昭和15年）に別府市で没しました。



岡田三郎助《佐藤慶太郎肖像》



朝倉文夫《佐藤慶太郎君之像》